

みんなで語ろう！  
～いなむら市長とともに車座集会～

概要

平成23年5月24日(火) 10:00～11:30

会場：中央支所 参加者：38人

<p>市長</p>	<p>皆さま、おはようございます。お忙しいなか車座集会にご参加いただき本当にありがとうございます。初めての車座集会で参加者が少なかったらどうしようと、実はドキドキしていましたが、足元の悪いなか多くの方に集まっていたいただき嬉しく思っております。私と同じように車座集会の参加が初めての方はいらっしゃいますか。結構いらっしゃいますね。貴重な時間ですので皆さまといういな意見交換をさせていただきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>資料「尼崎市の再生と発展をめざして」をもとに、尼崎市の財政状況を説明</p>
	<p>今まで尼崎市は行財政改革に一生懸命取り組んできました。私はその財政再建という責任から絶対目を逸らさずに頑張りたい。財政再建とは、私たちが本当に暮らやすく、そして豊かな尼崎を実現するために取り組むべき手段であり、財政状況が厳しいからと言って削ること自体を目的にしては元気なまちづくりを進めていくことはできません。私たちはどんな尼崎を目指していくのか市民の皆さまと話し合い、共有しながら、豊かなまちづくりを目指していきたいと就任後、市役所で行いました初めての挨拶で申し上げました。</p> <p>こうしたことから平成23年度の施政方針に3つの柱を掲げました。</p> <p>1つ目の柱は「コンパクトで持続可能なまちづくり」です。施設の集約の考え方のように、よりコンパクトに集中させていく代わりに、1つ1つを時代に見合った将来の変化に耐えられる機能性の高い施設に変えていくとともに財政基盤も持続可能でなければならぬと思っています。また、今年度は市バスのあり方についての議論を進めてまいります。市バスの路線が戦略的にデザインされていることにより、どの路線を守っていくべきなのか、現段階では路線の見直しをしません、もう一度街をリニューアルしていく中で本当に持続可能な財政基盤で経営できる公共交通にあわせて考えていく必要があると考えています。お金がないから今のサービスを削るのではなく本当に必要なサービスをどのように維持していくのかを考えることが「コンパクトで持続可能なまちづくり」の意味です。</p> <p>今年度の新規施策の1つ目として「あまがさきエコプロダクツ支援事業」を実施します。尼崎市内で製造された環境負荷低減に大きく貢献できるエコプロダクツが多くあります。そういう製品をPRすることで、環境関連製造業の育成・活性化を進めるとともに、産業都市として環境と産業が共存しているという新しいイメージをPRする事業です。2つ目の「ECO未来都市尼崎宣言」は、産業界5団体と一緒に宣言させていただいたもので、尼崎市もわがまちの技術や歴史をもっとPRしようと産業界のみなさんと考えています。環境と共生する技術それは私たちの未来の技術であることをしっかりPRしてまいりたいと思っております。3つ目として「ファシリティマネジメント」は、公的施設の見直しのことです。これらの事業を通して、皆さまの健康、ものづくりの産業と歴史、環境のまちづくりを進めていきたいと思っております。</p>
	<p>2つ目の柱は「信頼と分かち合いのまちづくり」です。福祉に必要な歳出が右肩上がりに増加していると報告をさせていただきました。孤立している人が自立していくためには、地域や家族で支え合っていく人がいてこそ初めて自立することができます。この観点から生活保護等に関する自立支援プログラムとして、孤立している人の地域でのつながりを取り戻してから就労できるよう段階を踏んだ支援をつなげていくため組織も強化いたしました。大阪市で貧困ビジネスが問題となっています。制度そのものに不信任を抱かれるようなことがあれば、支えあいのまちづくりに大きな支障をきたします。支えが必要な方に届かないという事態は防がなければなりませんので、尼崎市でも体制を強化してまいります。これは不正受給があるから強化をするものではありませんので、誤解をされないようお願いいたします。市民のみなさんが不信任を持っていることこそが課題だと認識していますので、制度の説明は行政として大きな責任と考えていますので、しっかり果たしてまいりたいと思っております。</p> <p>次に「国民健康保険料特別減免制度」では、収入はあるが保険料が支払えず、減免の対象にも該当しない多数世帯や中間所得層世帯を対象とした新たな保険料の減免制度を設けました。少しでも滞納を改善して、制度に対する信頼度を高め国民健康保険制度の安定化を図ってまいります。</p>
	<p>3つ目の柱は「市民自治のまちづくり」です。阪神大震災のときに初めてボランティアに参加し、住民が主体的に関わっていくことによって、問題が解決していく手ごたえがまちを良くしていく大きなエネルギーになるということを実体験として実感いたしました。</p> <p>車座集会や今年度から始まりました「市長と語ろう！いなむら市長の見せて・聴かせてあまがさき」という、私が市内で活動するグループに訪問させていただき、市民の皆さまから多くの意見を頂き、一緒に考え施策に反映していくまちづくりを進めてまいりたいと思っております。また、行財政改革も第2ステージとして進めていかなければなりません。納めた税金がどこにどれだけ使われているのか、市民の皆さまと情報を共有しなければなりません。情報を共有することで議論をすることができます。こうした議論を行うことで市民の皆さまのご理解を得られるものと考えています。平成24年度には事業の棚卸しを行い、集められた税金がどのようなことにどれだけ使ったのか事業ごとに提示できるよう準備をしていますので、見直しにあたりましては市民の皆さまに参加をしていただくなかで一緒に進めていきたいと思っております。</p> <p>市長に就任して半年が経ちますが、これからもっとスピーディーに進めていかなければならないと実感しています。来年度から稲村カラーの政策がいくつか出てくる予定ですが、そのためにも今年度はしっかりと皆さまからの声をたくさん聞かせていただきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、本日のテーマを決めてまいりたいと思っております。</p>
<p>市民</p>	<p>2016年に尼崎市が100周年を迎えますが、記念事業としてバス祭りを提案したいと思います。</p>
<p>市長</p>	<p>ありがとうございます。</p>
<p>市民</p>	<p>3点ほどあります。産業高校の跡地に県立病院ができると思いますが、尼崎市にとって利益があるのでしょうか。また、大物にある病院(県立尼崎病院)をなぜ利用しないのか、塚口にある病院は古いため建て壊すことは理解できるが、建て替えて地域の病院になるという噂を耳にしたので、そのこともお聞きしたい。現在の産業高校跡地にある村山投手の銅像はどうなりますか。震災の関係になりますが、市長が現地へ行かれたことは大変良かったことと思いますが、阪神・淡路大震災を経験していたにも関わらず、救護物資を集めることが阪神間で一番遅かったと思っておりますがどうしてなのか。市長は阪神・淡路大震災のときにボランティア経験もあるということだったので、被災者にとって今何が必要であるかを一番理解されていたのに、なぜ対応が遅かったのかお聞きしたい。市に物資を集めないのか聞いたら、職員より「送っても受け取ってもらえるかどうかわからない」と言われた。まだまだ水や食べ物が行き渡っていない地域もあるので、今後の支援についてもお聞きしたい。</p>

市長	ありがとうございます。
市民	車座集会にはじめて参加させてもらいました。ありがとうございます。私は尼崎生まれで、しばらく関東で暮らし今年4月に帰ってきました。エコ未来都市を具体的に、プロジェクト的に進めていく必要があると思います。尼崎市のものづくりはとても良いものがあると思うので、エコ未来都市を進めるためにもっと盛り上げてほしい。
市民	尼崎は小学生のときまでは住みやすいまちだが、中学校からはいろいろな教育問題があり、転出する人が多いと思われる。そうすると高齢者が増えてしまうことにつながるので、やはり教育問題について市全体で話し合いたいと思います。
市長	ありがとうございます。
市民	市バスの回送が多すぎるように思います。ある日、山手幹線で30分ほどの間に東から西からと回送のバスが5台も通過しました。久々知の車庫を出て阪神尼崎駅に来ているのですが、来るバスが回送となっていることが多い。確かに時間どおりにバスは到着しますが、1時間に1本しかない路線であったり、どのようなローテーションを組んでいるのでしょうか。それから、大西新町公園の東北の角に大きなコンテナが置かれています。これまで市に5回掛け合いました。公園課に3回出向きましたが、現地を見に行ったのでしょうか。
市長	市営バスのことと、お話しをいただいたときの職員の対応についてですね。
市民	尼崎市における動物愛護管理行政のあり方検討会議でお世話になりました。テーマとして尼崎市における動物愛護管理行政のあり方検討会議を終えてと言うこと。市長も震災の時にボランティアをされたということでも親近感を持ちました。震災時に保健所の課長が指揮をとって犬猫を何百匹も譲渡し救ったという記録がありますので、その記録についてお話をしたいと思います。
市長	はい。ありがとうございます。先ほど手を上げられた方のご提案を順番にお聞きして意見交換をしたいと思います。
市民	今問題となっている教育問題について提案したいと思います。
市民	東日本大震災のような震災が尼崎に発生したら、大丈夫なのか。
市民	尼崎市の人口がどんどん減っていくなかで、市議会議員の定数を減らせないのか。以前は45人いたが、1人減らしただけではないか。もっと減らせるのではないか。
市民	その問題私も賛成です。
市民	1つ目が公営交通の問題についてです。市バスのあり方を検討される場合は是非参加したいと思っています。西宮市のように市営バスを持たない自治体や神戸市のように一部民間に委託をしている自治体があります。公営交通と民間のバス会社では職員の拘束時間は同じである。この点を含めて検討会に参加させてほしい。2つ目が市民の所得は200万円程度で、職員が700万円程度と聞いた。市の職員は市内に居住して市民税を払って生活をし、市政に協力をするようにしてほしい。最後にさきほど意見があったように市議会議員定数の削減について私も賛成です。半分でいいと思います。
市民	はじめて車座集会に参加をしました。小さな子どもを抱えています。近くには消防団があります。お聞きになったことがあるかわかりませんが、夜中に空襲警報のように鳴り、子どもがとても怖がります。吹田市の知り合いに聞いたら、とてもびっくりされたし、伊丹市に勤めていた知り合いにも聞いたが、伊丹市では全て廃止した、尼崎市は遅れていると聞いた。子どもが病的に怖がる現状を、皆さんはどうお考えですか。
市民	50年振りに尼崎市に帰ってきました。懐かしかったが風景の変化にも驚いた。一番驚いたのは自転車の横暴です。違法駐輪の問題です。市長がお話をされた尼崎市が誇れる企業のPRについては賛成です。それと同時に市のイメージアップの面でマナー向上運動を是非お願いしたい。中央公園の近くでは人が多く集まるのでごみが多く大変汚い。中央商店街での違法駐輪の多さ、こんな風景を目にしたら市外から来た人は「何だ。このまちは」と思う。是非、環境にプラスしてマナー運動を進めてほしい。
市民	中央商店街入口のパチンコ店では、平日の朝の開店前からたくさんの方が並んでいるので、仕事をしていない人が多いと言う印象を市外から来た人に与えてしまわないのか。全国的に商店街の衰退もあるが、市の中心部として誘致や活性化を進めてほしい。住民を巻き込んだ応援をもっと活発的に進めてほしい。
市民	保育所の民営化に反対です。民営化することで、市は経費を抑えていると思いますが、4月1日にいきなり先生がガラッと変わってしまう。民営先をガラガラクジで決めていると聞いた。また、民営化で先生の給与を削減するために若い先生が増え、経験豊富なベテランの先生が減らされると、今まで積み重ねてきたものが無駄になり、子どもたちにとって良い保育ではなくなる気がします。
市長	今、民営移管された保育所に通っているのですか。
市民	民営化が予定となっています。
市長	はい。ありがとうございます。まず、今の質問についてお答えしたいと思います。先ほどの保育所の民間移管ですが、クジで決めることはありません。尼崎市は他市とは違い、社会福祉法人だけを民間移管の対象にしています。株式会社であっても保育所の経営はできますが、信頼性やこれまでの経験が重要であるということから、限られた法人しか手を上げられないようになっています。

市民	これまでの経験とかわかるんですか。
市長	<p>社会福祉法人に限定して民間移管しています。公立保育所のように「もっとこうしてくれたらいいのに」と思われる部分が保護者の方にはあったと思いますので、保護者の意見を反映させるため、実際に保護者の方に選考委員会のメンバーに入ってもらい、これならいいと納得していただける仕組みになっています。職員が若手ばかりになるのではないかとという点ですが、公務員と民間の賃金に差があることは大きな課題だと認識していますが、経験ある保育士の確保に対し、人件費の補助金を出す仕組みを新たに設けていますので、経験の浅い人ばかりではなく保育の経験年数のバランスについても配慮しています。現在、働いているお母さんが増加してきていますので、子どもを預ける保育所がないから働けないと言ったいわゆる待機児童を増やすことは許されないことだと思います。皆さまの声が届く保育サービスを進めていくなかで民間移管になりますので不安に思うことや不安にさせる話を聞いたときはおっしゃってください。情報を提供することでご理解していただけることもあるかと思います。そうした声を聞くなど話し合いをしながら民間移管を進めていきたいと思っています。</p>
市民	誰に言ったらいいんでしょうか。
市長	<p>保育所の担当の者または父母会がありましたらそちらにお願いします。ただ様々な事情がありますので、また、よろしければ管理・計画担当に連絡していただければいいと思います。</p>
市長	<p><b>震災の関連について</b></p> <p>物資の支援が遅かったというお叱りをいただきました。尼崎市は阪神・淡路大震災のときに東の玄関口として非常に多くの物資を受け入れた自治体としてどこにどういう支援をしていくのか、被災地にとってより希望に叶うところはどこか、物資はどこに何を送った方がいいのか検討を重ねたことで、他の自治体より遅れてしまったという面もございます。「もっと協力したかった」と言うお声も多く頂戴しました。こうしたことから気仙沼市とパートナーシップを結ばせていただき、集めた物資を送らせていただけるように支援の体制もできつつあります。今後とも引き続き皆さまのご協力をお願いしたいと思います。また、私が気仙沼市へ行ったことで民間の福祉関係者が気仙沼市へ行き支援を行っているとの報告もいただきました。官民間問わず、気仙沼市と縁を結び支援している情報が共有することが次のステップになると思います。この尼崎市全体のネットワークが今後わがまちの大きな力になると思います。津波対策についてですが、尼崎市では防潮堤が機能するというのを想定した防災計画を策定していますが、ご存知のとおり、この度の東日本大震災で防潮堤を大幅に越えた津波が発生してしまいました。今、国も県も想定そのものを見直しをしなければならぬと思っています。もし防潮堤を越えてくるような津波が満潮かつ豪雨の時、非常に低い確率だとは思いますが悪条件が重なった場合に、どれだけ被害が発生するのかが現在、兵庫県とデータのやりとりしているところです。これまでよりも高層のビルを避難場所として増やす必要がありますので、分散している公共施設の機能を1つに集約し、高さを上げられるような見直しを進めたいと思います。</p>
市民	市長ありがとうございます。私も現役のときに防災の仕事をしていましたので、尼崎市の防潮堤はすごいと思います。ただ今回の東日本大震災で「想定外」の津波が発生しましたので、尼崎市の防潮堤が崩壊した場合も想定してほしい。そのためにも市長には頑張してほしい。
市長	ありがとうございます。この問題はまだ渦中にあることですので、なるべく早く情報を得て皆さまにその情報をお出しできるようにしたいと思います。
市長	<p><b>県立病院について</b></p>
市長	<p>市内にあった2つの県立病院が集約されることになりました。救急が非常に増え、病院のたらいまわしが全国的にも課題になっています。例えば麻酔科の医師が足りず手術ができない、24時間365日の救急体制を組みたいが医師が不足している。そういう意味でしっかりした拠点を作り、医師、看護師、麻酔科医も含めて、いつでも受け入れできる体制を整えることが今回の集約化の趣旨です。</p> <p>現在、尼崎医療センター休日夜間急病診療所で休日の救急診療を行っています。小児科医師が不足しているため時間を短縮できないかと医師会から相談を受けている状況です。休日に子どもさんの体調が悪くなり診てもらえる医療機関がないとなれば母親としてとても不安だと思います。休日診療などの一次救急は市の仕事です。一方で交通事故で重傷の患者などの救急は県の仕事です。救急医療体制の確保においても県立病院から、何らかの形で協力してもらえそうな話も進めたいと考えています。</p>
市民	大物に県立病院がありますよね。それを作るときに何故それをしなかったのか、塚口の病院は無くさないでほしいと白井前市長にもお願いをした。尼崎市には大きな病院は少ないが、産婦人科など民間の病院は結構あり、市外へ少し出たら大きな病院がある。こうした機能があるのに、尼崎産業高校の跡地に、また何故新しい病院を建てるのかが問題ではないか。定時制高校に通っている子どもたちがいるなかで学校をつぶしていく、これは子どもを無視した市政になっているのではないかと。立派な学校を10年先、20年先の将来を見据えて建てたものをつぶすのであれば、壊した病院の跡地に建ててほしかった。
市長	<p>県立病院の統合を検討するなかでは、県立尼崎病院を残すという案もありました。しかし、高度な救急医療を行うためには、救急車の出入りで広大な面積が必要であるなど、より充実した施設整備が可能であり診療機能の向上が見込まれることから県立尼崎病院は使わず産業高校の敷地で集約することになりました。ただ一方で県立尼崎病院はまだ使えるので、医療関係、福祉関係のいずれかの施設として利用してほしいとするなど、地域医療に配慮してもらおうと県に対して要望しています。尼崎市の医師会も同じ方向性で要望活動していただいています。</p>
市民	私が思うには、尼崎年金事務所とハローワークを設置してはどうですか。
市民	尼崎年金事務所付近もハローワーク付近も車の渋滞が発生し、かなり迷惑しています。ハローワークで駐車場がないのは尼崎だけですね。

	はい。その件については、市民の声として承っておきます。ありがとうございます。
市長	<p><b>職員の給与削減について</b></p> <p>国家公務員も人件費を削減し、国の復興財源に充てるという報道がありました。尼崎市では、すでに職員の人件費をカットしており、期末・勤勉手当は18～25%カット、給料もカットしています。市長の期末手当については55%カットとなっており、大変驚きました。市の職員のモチベーションも維持していくことも考えていかなければなりません。どういう職を担っている職員にどのように配分するのかその処遇の面について、正規非正規の格差についても考えなければならぬのではないかと問題意識を持っています。</p>
市民	市バスの件や公園の問題にしても、別のことで市役所に相談しても通じていかない。公園の話も言い続けて3年になりますが諦めて1年半、2年経ちます。
市民	公園の事に関して、現地を確認してもらえたらすぐわかることだが、なぜ言ったことがすぐに実行してもらえないのか。
市長	<p>いただいた声の返答が不十分ということですので、どうなっているのか、できないならできない理由を説明する必要がありますね。職員の窓口対応に関する苦情をいただいているのも事実ですので、職員一人ひとりのやり方はもちろんですが、仕組みの問題もあります。この件については確認させていただきます。</p> <p style="text-align: right;"><b>担当課からのコメント①</b></p>
	<b>市営バスについて</b>
市長	民間に委託したらどれだけの費用になるのか、公営で運営を続けるとしたらどうなるのか、複数のパターンでシミュレーションをして、市民の皆さまに提示をして意見交換をしたいと思います。今回はバスがどのような形態になるか路線の見直しとは切り放して検討したいと考えています。環境の面でも公共交通機関は利用していただきたいし、市民の足としての担い手であってほしいと思いますので、税金で支える部分はどこのか市民の皆さまとともに考えたいと思います。また市民の皆さまにご意見を頂戴する手続きも考えていますので、よろしく願いいたします。
市民	市バスを利用しているときに、「ありがとうございます」と言って降りるのに、運転手は素知らぬ顔をします。運転手の対応が悪い。もちろんいい人もいるのはわかっている。
市民	市バスの運転手は、何か物を運んでいるつもりなのでしょう。ブレーキをいきなりかける人がいる。いい運転手もいるが、対応が悪い運転手のときは名前を見るようにしている。
市長	そのようなことはないと思いますが、対応が悪い人にははっきり努めてもらうようにしなければならぬと思います。
	<b>自転車のマナーについて</b>
市長	自転車マナー向上については大きな問題だと思います。
市民	JR尼崎と阪神尼崎では放置自転車、バイクがたくさんあります。やっとなんか阪神尼崎の放置自転車やバイクがなくなったと思ったら、他のところに違法駐輪している。まるでイタチごっこです。このような状態では尼崎のイメージ低下につながります。
市長	放置自転車問題は、車いすの方やベビーカーが通れないという安全性の問題がありますね。
市民	商店街の中も自転車に乗って通ったり、パチンコ店の前に自転車がたくさん駐輪されていたり、JR尼崎の対策はまだままだのようには思いません。それからシルバーの人が働いているように見えません。なぜあの人たちに税金を払わなければいけないのか。
市長	シルバー人材センターには、駐車または放置されている自転車の整理及び自転車を駐車または放置しようとしている者への指導をしてもらっています。
市民	整備をさせるのではなく、そこに止めさせないようにさせることが必要ではないか。
市長	シルバー人材センターとは駐車または放置されている自転車等の整理及び駐車または放置しようとする者への指導を目的とした契約を交わしているため止めさせないという業務は非常に難しい業務になりますが、今後の課題と思っています。
市民	自転車のマナーは本当に危ない。赤信号でも走る人もいるし、商店街の中でも自転車に乗ったままの人もいる。自転車から降りて押して歩けばいい。あと自転車は車道を走ってほしい。
市長	自転車のマナーは、子どもたちから徹底していく必要があると思います。イメージチェンジのためにも、エコ未来都市あまがさきの一環としても自転車は外せません。自転車のマナー問題は、市民の皆さま主体でやらないと進まない問題であるとともに大変大きな課題であると認識しています。皆さまのご意見を聞き、今日はとても心強く思います。これからはうまく進んでいるところの分析も行って考えていかなければなりません。
市民	JR尼崎の高架下が本当に危ないんです。COCOEができたときはガードマンがいて、みんな自転車を降りて通過していた。あそこにはガードマンなどの注意できる人を配置することが必要だと思います。
市長	ありがとうございます。

	<b>教育問題について</b>
市民	子どもの前で親が赤信号で横断する。これも教育上良くない。
市長	そうですね。教育問題につきましては、これまでに引き続き学力向上だけでなく、まちづくりにも関心を持ってもらえるような体験学習を導入していきたいと思います。また、小学校と中学校の連携を強化することで子ども達のフォローができる仕組みをつくりたい。具体的な施策について検討を進めているところです。教育問題で、ここが課題だと思ふことがありましたらご意見を頂戴したいと思ふます。
市民	先生の資質の向上が絶対に必要だと思います。パブリックコメントなどで教育委員会にお尋ねしても、「市の職員だから」、「考えが違うから」という対応をされました。
	<b>議員の定数について</b>
市民	議員の定数削減と議員報酬の削減をしてほしい。
市長	市民の声として報酬削減などについてはお伝えさせていただきたいと思ふます。議会と市長はチェックアンドバランスの関係にあります。皆さまのお声が強かったことは伝えたいと思ふます。
市民	市議会議員の定年制も進めるべきだと思います。
市長	ご意見として承ります。市議会議員選挙の場合は一定の票数があれば当選しますが、市議会もずいぶん変わってきたという思ふもあります。
市民	統一地方選挙に尼崎市もあわせることも考えてください。市の税金から補助が出ているんですよね。これは改善しなければならぬと思ふます。
市長	これは全国的な問題となっています。ご意見として承ります。
	<b>生活保護について</b>
市民	仕事はしない、昼から酒を飲んでる、博打をする、そういう人たちがいっぱいいますよ。もっともっと、母子家庭の人たちとか助けてあげなければならない。生活保護者は仕事もしないのに、働いたら減らされるからと言って昼から仕事もしないでいる。
市民	国民年金を一生懸命働いてきた人よりも、実際どちらの生活費が潤っているか考えたときに、ほんとに国民年金を40年間払ってきた人が、いくらで生活しているのか、そういう人たちは病気になるたら医療費を払わなければならないでしょ。
市長	そうです。それは本当に大きな問題となっています。繰り返しになりますが、是非ともしっかり取組んでいきたいと思ふます。
市民	是非ともこの扶助費660億円をうまく減らしたら、尼崎市の財政が楽になります。
市長	高齢化も進みますので扶助費が伸びていくのは確かなことです。ただむやみに伸ばすのではなく、私たちが元気に健康でいることで扶助費の増加が抑制されていくのが本来の姿かと思ふますので、しっかり頑張っていきたいと思ふています。
市民	平成23年度施政方針1,2,3のうち1と3はまさにそのとおりです。ところでね、生活保護における自立支援プログラム、これでも生活保護のやつらはとかね、そういう言葉っていうのは人権蹂躪なんですよ。いろんな理由でね、働けなかったり、高齢であったり、あるいは国民年金で足りないものを生活保護で補填されていたり、そういう事情があるわけです。こういうやつとか、そういうことはとんでもない話ですよ。 それと白井前市長にもお話し申し上げましたが、「わしらのころは生活保護は恥ずかしいと思ふたもんだ」と言っていた高齢者がいたが、あんたの年金は原資あると思ふているのかと。見当違いです。それと自立支援プログラムであれば、自立支援できるように、ぜひそのような措置を、私が実際に提案させていただいていますが、市長に届いているかどうかはわかりません。それと不正受給対策というのはごく一部の暴力組織であったり、そういう人たちでしょう。それであれば刑事罰だから、警察に頼めばいいことです。ケースワーカーの増員で嘱託職員を新たに配置する、こういうことであってはトータルとしての市のクオリティの高い職員の給与を下げることにしてしまうから、逆に先ほど市長がおっしゃった、モチベーションを下げることになると思ふます。余計な職員を増員すればいいってもんじゃないんですから、数の問題ではないんです。
市長	時間のほうが迫ってまいりました。様々な見方や感じ方でいろんなご意見があるのは事実です。私はそれらの間をしっかりと結んでいくことが行政の役割だと思ふています。貴重なご意見ありがとうございました。 消防団のサイレンについては、消防団に果たしていただいている役割も大変大きいので、この件については、預らせていただきます。 <b>担当課からのコメント②</b> また、エコ未来都市、エコプロダクツの話も頂戴しました。11月に開催します「あまがさき産業フェア」にあわせてPRをしていただくことも考えていますので、ぜひ、連携しているいろと取組みたいと思ふます。 時間がなく、お話できなかったのですが、動物愛護について、何かPRも含めてご提案はございますか。
市民	市長にまたお手紙を渡させていただいてよろしいでしょうか。

市長	かしまりました。動物愛護については、動物を迷惑と感じる人と助けたいという人がいますので、市民の皆さまのなかで歩み寄っていかなければならない問題だと思います。
市民	1点よろしいでしょうか。犬の動物愛護センターの犬舎が一杯なんです。一杯になるとどうしても殺処分となってしまうので、何とかそうならないように囑託の人が頑張っています。そのなかで使っていない部屋があります。負傷犬舎と伝染病になった犬を収容する犬舎ですが4匹と2匹が収容できます。日ごろあまり使われていないので使えるようにしてほしい。
市長	ありがとうございます。いろいろな具体的な提案を引き続きしていただいたら、現場のほうでも検討させていただきます。冒頭でお話のありました100周年の話についてですが、これはもう市民の皆さんと一緒に進めなければ意味がないと思っています。特に100周年には、もっともっと私たちが誇りと愛着を持てる尼崎市にしたいと思います。 今日は私の進行がまずくて時間が遅れてしまい申し訳ありません。でも本当に力強い意見をいただき心強く思いました。車座集会はまだ1回目でございます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

## 担当課からのコメント

<p>担当課からのコメント</p> <p>公園の管理上、清掃業務等に必要の倉庫等の設置については、公園占用の許可を出しているものでございますが、大西新町公園に設置されているコンテナの件につきましては、無許可で設置されております。当該コンテナについては、現在、コンテナの利用者に対して、コンテナ内に収納している物品一式及びコンテナ自体の撤去について交渉を実施しており、コンテナ等の撤去に向けて取り組んでいます。</p> <p style="text-align: right;">都市整備局公園課……………電話06-6489-6531</p>
<p>担当課からのコメント</p> <p>尼崎市には消防機関として、消防局と消防団があります。消防団員は、普段は仕事を持っており、火災出動や訓練・防火指導・各種行事の参加など、非常勤の地方公務員として昼夜を問わず活動し、その活動は地域防災の要となっております。大規模な災害や炎上火災に際して、消防団員を、すばやく一斉に招集するため、サイレンを利用している消防分団がございます。また、サイレンによって、地元住民への注意喚起を図るということで、地元からサイレン吹鳴を推奨されている分団もございます。サイレンの吹鳴については、法的には認められておりますが、地元住民の意見を踏まえ、地域事情を加味しながら、吹鳴する事案、時間、さらには召集方法について、検討していかなければならないと考えております。ご意見を頂いた方が居住する地域の消防分団へは、消防局から当該分団へ事情を伝え、検討を進めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">消防局総務課……………電話06-6481-3962</p>